

「宇都宮市道路見える化計画」の概要

1. 策定にあたって

(1) 策定の目的

近年、みちづくりには、より一層の透明性の確保や、説明責任の要請が強くなっています。このことに的確に対応し、道路整備を計画的、効率的に推進するとともに、市民の皆さんにわかりやすいみちづくりを目指すため、「宇都宮市道路見える化計画」を策定します。

(2) みちづくりの「見える化」に向けた姿勢

道路の課題やニーズをデータ等により把握します
課題解決を急ぐべきところを重点化し対策します
みちづくりの目的や成果をわかりやすく「見える化」します

2. みちづくりの取組み

宇都宮市では、次のような方針により、みちづくりを重点化し、進めています。

- 円滑な交通を支えるみちづくりのために、
「都市・地域の活力を高める幹線市道網の整備」を進めています。
- 誰もが安心して利用できる身近なみちづくりのために、
「安心・安全な暮らしを支える道路整備」を進めています。
- まちの魅力を活かし、賑わいを創出するみちづくりのために、
「都市の魅力を高める道路景観の整備」を進めています。
- 将来のコストを軽減するみちづくりのために、
「トータルコストを抑制する道路整備・管理」を進めています。

3. 道路の現状や課題を示すデータ

(1) 現状データ

- 市が管理する道路はますます増加、まちづくりに重要な骨格道路の整備も不十分
- 宇都宮市には渋滞が集中、国・県道だけでなく生活に身近な市道でも渋滞・混雑が発生
- 交通事故の発生件数は減少傾向に転じていない。また、全国的に比較しても高い死者数

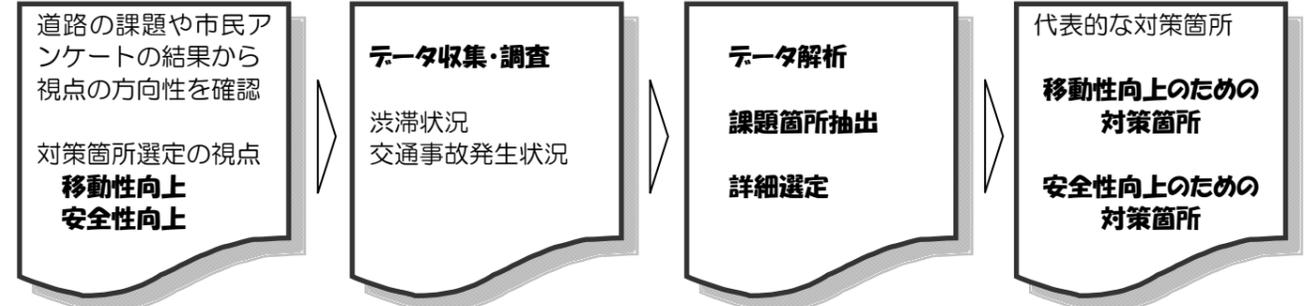
(2) 市民のニーズ ……《H19.5 市民アンケートの結果より n=2,007》

- 約9割の市民が道路整備の必要性を理解
- 道路整備の重要視点は「事故対策」、「渋滞対策」、
「歩行環境整備」、「走りやすさ」が多数
- 渋滞や危険箇所など改善が必要な市道が多数
- 歩行者通行空間の容量が不足

計画的・効率的な道路整備、
移動性の向上・安全性の向上
が求められている

4. 具体的な対策

(1) 対策箇所選定の視点と流れ



(2) 代表的な対策箇所

移動性向上のための対策箇所

渋滞に関する市民アンケート結果や渋滞調査データのほか、公共交通との連携、国・県渋滞対策との連携など総合的な評価により、次の路線を選定します。【6路線】

陽南通り、平成通り、市道 544 号線、宇都宮水戸線、インターパーク地区周辺、みずほの通り

対策例⇒道路の拡幅、新設、右折レーン、交通規制の見直し など

安全性向上のための対策箇所

危険箇所に関する市民アンケート結果や交通事故多発地点(路線)データのほか、歩道の状況、通学路の該当など総合的な評価により、次の路線(地区)を選定します。【6路線、2地区】

市道 544 号線、宮原球場通り、市道 1635 号線、山崎街道、越戸通り、松原鶴田線、宿郷地区、東宿郷地区

対策例⇒歩道整備、段差解消、交通規制の見直し、路面表示 など

(3) その他の取組み

工事現場の「見える化」

工事現場の看板の内容について、工事の目的や期間などを表示し、わかりやすくしていきます。また、道路上での交通規制の影響を最小限にするため、迅速な工事を目指します。

維持管理体制の強化・充実

既存の道路施設の有効活用を図るため、適切な修繕を行いながら、道路施設の長寿命化対策を進めます。さらに、継続的に道路パトロールを行うなど、適切な管理を行います。

交通安全の意識啓発

事故のない道路環境を実現するためには、交通ルールの徹底やマナーの向上が不可欠です。このため、道路利用者に対し、交通安全の意識啓発活動を実施します。

5. 計画の推進に向けて

(1) 道路行政マネジメントの実践

Plan(計画)-Do(実施)-Check(評価)-Action(反映)サイクルの実践を徹底し、うつのみやのみちづくりをさらに「見える化」します。継続的な取組みを推進していくため、懇談会を設置し、評価・進捗管理を行います。また、概ね5年を目安に、計画の見直しを行います。

(2) 国や県との連携

道路利用者に満足される道路ネットワークを構築するため、国や県と一体となってみちづくりに取り組み、「見える化計画」を推進していきます。